

Minami Kyushu University Junior college Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	国際教養学科				
科目名称	文章表現の基礎 I				授業形態	演習			
科目コード	590127	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	田中 利砂子							ICT活 用	○
授業概要	<p>文章表現力は、大学においてはもちろん、社会に出てからも重要視される。そこで、文章表現の基礎 I では、身近な素材を比較・検討しながら、大学生および社会人に求められる日本語表現技術の習得を目指す。さらに、社会人になるためには、「社会人基礎力」（「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」）の習得も不可欠である。よって、授業内外における活動を通じ、主体性・深く考える力・チームで協力する姿勢を養成する。</p>								
関連する科目	文章表現の基礎 II								
授業の進め方 と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・事前課題による予習に基づいて授業を進める。 ・毎回の授業の一部にグループワークを取り入れる。 ・グループワークで話し合いをし、その内容について発表する。 ・必要に応じて、課題提出やフィードバック等にUniversal Passportのクラスプロフィールを使用する。 								
授業計画 【第1回】	1課 イントロダクション 現在の自分の文章表現力と、これから身につける必要のある文章表現力を認識する。								
授業計画 【第2回】	2課 表現の基礎 (1) -表現と言葉づかい- 表記と言葉づかいの基本を知り、印象のよい文章を書く姿勢を身につける。								
授業計画 【第3回】	3課 情報を整理して示す-メモやメニュー- メモや飲食店のメニューを題材に、たくさんの情報を整理し、見やすく示す方法を学ぶ。								
授業計画 【第4回】	4課 情報を確実に伝える-注意書き- 注意書きを題材に、重要な情報を確実に伝えるための効果的な方法を身につける。								
授業計画 【第5回】	5課 情報を正確に伝える-連絡・案内のメールなど- メール作成などを通して、情報を正確に伝えるために必要な力を養う。								
授業計画 【第6回】	ステージ1 まとめ 2課～5課での学習を振り返る。								
授業計画 【第7回】	6課 表現の基礎 (2) -読みやすい文を書く- 文が読みにくくなってしまふ理由を知り、読みやすい文を書く姿勢を身につける。								
授業計画 【第8回】	7課 相手に合わせて表現する-敬語- 敬語の基本的な仕組みを知り、使い方を学ぶ。								
授業計画 【第9回】	8課前半 配慮して伝える-行動を促す文章①-: 依頼のメール 依頼のメールを題材に、読んだ人がスムーズに行動できる文章の書き方を学び、必要な時に適切な配慮をする姿勢を身につける。								
授業計画 【第10回】	8課後半 配慮して伝える-行動を促す文章②-: 手順の説明 手順の説明を題材に、読んだ人がスムーズに行動できる文章の書き方を学び、必要な時に適切な配慮をする姿勢を身につける。								
授業計画 【第11回】	9課 丁寧に伝える-手紙の書き方- 手紙の基本的なルールや書式を学ぶ。								
授業計画 【第12回】	10課 表現の基礎 (3) -わかりやすい文章を書く- わかりにくい文章の問題点を知り、わかりやすい文章で伝えたいことがアピールできるようになる。								
授業計画 【第13回】	11課 アカデミックな文章を書く レポートや論文のようなアカデミックな文章を書く際の決まりを知り、客観的な文章を書く力を身につける。								
授業計画 【第14回】	12課 企画をアピールする 企画をアピールする広告を通じて、一貫性のある内容と表現で人の心に訴えかける力を身につける。								

授業計画 【第15回】	13課 自分を表現する-自己PR基礎編- 相手の知りたいことをふまえ、自分の人柄や能力を効果的にアピールするための基礎的な考え方や技術を身につける。
授業の到達目標	① 客観的な文章が書けるようになる。【汎用的技能】 ② 人の意見を聞く姿勢や自分の考えを人に説明する能力が身につく。【態度・志向性】 ③ 論理的に思考することができる。【汎用的技能】
学修成果との関連	2. 自分の言葉で表現できる能力を有する。
授業時間外学習【予習】	使用教材の該当課を事前に読んで予習しておくこと。事前課題がある場合は、確実に遂行すること。(2時間程度)
授業時間外学習【復習】	授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理しておくこと。事後課題がある場合は、確実に遂行すること。(2時間程度)
課題に対する フィードバック	課題のフィードバックは、授業時に適宜行う。必要に応じてUniversal Passportのクラスプロフィールも使用する。
評価方法・基準	・積極的な授業態度：10点 ・課題：20点 ・ポートフォリオ：30点 ・最終課題：40点
テキスト	野田春美ほか（2016）『グループワークで日本語表現力アップ』ひつじ書房
参考書	野田尚史（2005）『<もっと知りたい！日本語> なぜ伝わらない、その日本語』岩波書店 石黒 圭（2012）『この1冊できちんと書ける！ 論文・レポートの基本』日本実業出版社
備考	特になし。